

# 南地域まちづくり かわら版

各地区において、行政区の運営を支えていただいている区会役員さんをはじめ、民生委員、消防団、子ども会役員等の皆さんとミニ座談会（意見交換会）を開催しました。防災・防犯、福祉などについて日頃から感じている課題、今後のまちづくり活動に向けたアイデアや意見を出し合いました。たくさんのご意見の中から一部を紹介します。

## 大屋敷区

5月19日(日)

大屋敷学習等共同利用施設 27名



- ・寝たきり、難病の方を想定した防災訓練や避難経路マップの作成が必要！
- ・五条川の草刈りと併せ、ごみゼロ活動も実施してはどうか。
- ・消防団員が減少している。
- ・新田地区を中心に『高齢者見守り支え事業』が進めてられている。
- ・新しい組織づくりには、担い手不足が懸念される。

## 豊田区

5月25日(土)、6月17日(月)

豊田学習等共同利用施設 各 20名

- ・野菜や賽銭泥棒が多発している。
- ・消防団員のなり手がいない。  
また、団員は、仕事に就いているため、活動時間が限られる。
- ・コミュニティーバスの利便性があまりよくない。
- ・ごみのポイ捨てが多い。
- ・今後、子どもの減少とともに、子ども会の運営が心配。
- ・保護者だけでは、通学時に見守る手（目）が足りない。
- ・『地域で支える福祉』の視点が必要。
- ・心のかよった顔見知りの関係、声をかけ合える地域でありたい！



地域自治推進の取り組みのひとつとして、平成24年度より秋田区特別委員会で作成した『地域安全』『自主防災』の提言書の検討、5月に実施した通学路・用排水路総点検結果の報告を行いました。

併せて『かわら版』等を活用し、新しい地域自治組織について意見交換を行いました。



座談会開催に際し、多くの方のご協力をいただき、ありがとうございました。各地区で出されたご意見等を参考に、共通課題を『テーマ』として、南地域自治組織設立後の事業計画に反映していきます。

### **高浜南部まちづくり協議会を視察しました！ 6月11日(火)調査部会**

『住民力の強化』を目指して、町内会をはじめ、地域内の各種団体が連携し、従来の活動を効率化する等、先進的に取り組んでいる愛知県高浜市高浜南部まちづくり協議会を視察しました。

#### **【質疑応答の一部をご紹介します】**

##### **■ 町内会の活動とのすみ分けは？**

→ 町内会でできることは町内会が行う。

町内会でできないこと、他の町内会や各種団体と協力したほうがよいことをまちづくり協議会で実施している。

##### **■ 住民の理解度は？**

→ 当初は認知度が低かった。活動内容や成果が見えるようになった頃から認知されるようになった。東日本大震災以降は、批判的な意見もなくなった。

##### **■ まちづくり協議会の会員構成は？**

→ 20代から60代と幅広く、女性が2割程度。

『とにかく行動・実行しよう！議論しよう！！』との思いで、公園管理事業や介護予防事業等、できることから活動をスタートさせた。

今回の先進地視察で、防犯・防災、子どもの健全育成、介護予防等すべての事業は地域福祉につながっていることが分かりました。この地域にお住まいの皆さんが“安心して暮らせる地域(まち)づくり”を目指し、引き続き、組織のあり方や事業計画等を検討していきます。ご協力をお願い致します。